

DSO参加機関のイベント紹介

■ 量子科学技術研究開発機構：ダイバーシティスキルアップセミナー
「JST産学共同事業と公募支援制度について-応募に向け準備することのヒント-」■

【日時】平成31年4月18日 13時30分～

【講師】高山 大氏(科学技術振興機構・マッチングプランナー)

【場所】量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所 重粒子治療推進棟2階大会議室

【申込方法】nirs-diversity_ss@qst.go.jp または TEL:043-206-3022で受付

【関連情報】<http://www.qst.go.jp/>

【問合せ先】nirs-diversity_ss@qst.go.jp または TEL:043-206-3022

【対象】DSO参加機関以外も対象

■ 宇宙航空研究開発機構：JAXA調布航空宇宙センター一般公開 ■

【日時】平成31年4月21日(日)

①11:15～11:45 ②14:15～14:45

【題名】

①11:15～ JAXA女性職員による講演
「私たちの脳内分布」②14:15～ JAXA男性職員による座談会
「お父さんの研究生活」

【講師】JAXA職員

【場所】JAXA調布航空宇宙センター
(東京都調布市深大寺東町7-44-1)【申込方法】事前申込不要、先着順
(着席150名、立ち見可、各回入替制)

【関連情報】

<http://www.aero.jaxa.jp/publication/event/2019openday/>

【対象】DSO参加機関以外も対象



調布航空宇宙センター
一般公開
2019.4.21 10:00-16:00 [入場は15:30まで]

施設公開及び研究紹介
最新や最新の研究を紹介します。

おもしろ体験コーナー
航空宇宙研究に実際に携わって体験してみよう。

ホシモを探そう!
会場内に隠れているホシモを探して、クイズで答えよう。解答者がもらえるよ。

トークショー
いろいろなお話を聞いてみましょう。
会場：第1会場 対象：中学生以上

4研究所合同スタンダラリ-
観望する4つの研究所をまわり、スタンプを集めよう。記念品がもらえるよ。
【参加費】
無料
【申し込み】
事前申し込み不要
【申し込み先】
航空宇宙研究開発機構 航空宇宙推進部 航空宇宙推進課

交通のご案内

第1会場 東京都調布市深大寺東町7-44-1
●バス
●電車
●徒歩

第2会場 東京都調布市深大寺東町7-13-1
●バス
●電車
●徒歩

来場の際の注意事項
●駐車場(原付・自動二輪車含む)は、ご用意しておりません。ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。
●周辺道路の混雑等により、付近の看板にご注意をおかけするおそれがありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。
●観望の準備は各自で行っていただく必要があり、観望の準備は各自で行っていただく必要があり、観望の準備は各自で行っていただく必要があります。
●観望の際は、観望の準備は各自で行っていただく必要があり、観望の準備は各自で行っていただく必要があります。

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 調布航空宇宙センター 広報 〒182-8622 東京都調布市深大寺東町7-44-1
TEL: 050-3362-8036 URL: <http://www.jaxa.jp>



DSO参加機関のイベント開催報告

■ 千葉大学：

■ 「仕事と介護が両立できる職場づくりを考える」開催報告 ■

3月7日(木)千葉大学にて、「仕事と介護が両立できる職場づくりを考える」をテーマに、ダイバーシティCHIBA研究環境促進コンソーシアム連絡会を開催いたしました。

第5回となる今回は「仕事と介護両立ハンドブック」の著者で、様々な企業事例に精通した、社会保険労務士法人グラス代表・特定社会保険労務士新田香織氏をお招きし、企業の具体的事例や具体的な介護支援策についてご紹介いただきました。

当日は8機関12名が参加し、介護支援に関する取り組みや実践の悩み等について活発な意見交換が行われました。

ダイバーシティCHIBA研究環境促進コンソーシアムは、千葉大学、東邦大学、量子科学技術研究開発機構の3機関が連携して設立した組織で、多様な立場や経験を持つ研究者の育成と研究力向上を目的に、情報交換や交流等を行っています。

今年度は、電気通信大学、筑波大学にもご参加頂き、現在11機関となりました。

参加機関を随時募集中です。ご関心をお持ちの方は、ぜひご連絡下さい。



■ ダイバーシティCHIBA研究環境促進コンソーシアム ■

事務局： 千葉大学男女共同参画推進部門

Webサイト：<http://www.gakuzyutsu.chibau.jp/diversity/support/consortium201903.html>

連絡先： diversity-office@chiba-u.jp



DSO参加機関の活動紹介

■ 農研機構：ダイバーシティ推進ニュースレター ■

農研機構におけるダイバーシティ推進の取組内容をお伝えするニュースレターを発行しています。

【最新号のトピックス】

- ・子育て応援コンソーシアム「第3回会合」参加報告
- ・平成30年度メンタリング研修会を実施しました
- ・東北農業研究センターにおけるダイバーシティ実現に向けた取組
- ・農研機構のひと - work & life interview 2018 -
- ・一時預かり保育室「なろりんルーム」2019年度の利用登録をお願いします

https://www.naro.affrc.go.jp/diversity/files/diversity_news-letter06.pdf



農研機構は、ダイバーシティ（多様な人財の活躍）を推進します

子育て応援コンソーシアム「第3回会合」参加報告

「子育て応援コンソーシアム」は子育てにやさしい社会的機運の醸成に向けた国民運動の基盤として、官民合同で子育て世帯を応援する輪を広げていくことを目的としています。

今回のコンソーシアムは「農林水産・食品産業分野における子育て応援」をテーマに開催されました。子育て応援団体の一つとして農研機構からは理事長と波積理事が出席しました。内閣府少子化担当 宮藤大臣とのフォトセッション、ご挨拶の後、各団体からの特徴ある事例発表がありました。農研機構からは波積理事が「子育てを応援する職場環境」について、育児中の研究支援制度、一時預かり保育室の運営や、男性の育児参加の応援、女性の活躍状況などについて紹介しました。

また、各団体から地域における食育や農業体験、緑の少年団や 森の教室、子ども食堂への支援、地域における見守り活動などそれぞれの団体の特性を活かした地域における子育て支援の取組について紹介がありました。

最後に内閣府から、子育てをしやすい社会を実現するため優良事例を共有して地域へ広めていくこと、食育やフードバンク、農林水産業の担い手の子育て支援など、一歩踏み込んだ取組のネットワーク化などが提案されました。

日時：平成31年1月16日（水）
会場：赤坂インテリシティコンファレンスAIR
参加団体：農林水産業・食品関連等 24団体
主催：内閣府

当日の様子は内閣府のサイトからご覧いただけます。
<https://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/meeting/consortium03.html>



内閣府少子化担当 宮藤大臣（右）と農研機構 久間理事長（左）



農研機構ダイバーシティ推進担当 波積理事による取組紹介

平成30年度メンタリング研修会を実施しました

農研機構では職員全員が参加できるメンター制度を導入しています。その取組のひとつとして、メンター（相談を受ける側）として必要なスキルの内「傾聴」「相談の受け方」をテーマとする研修会を、下記の2カ所で開催しました。講師に外部産業カウンセラーの福田能明先生をお招きし、グループやペアに分かれてのワークを中心におこないました。実践的な内容に受講者から好評でした。

つくば地区
日時：平成31年2月22日（金）
会場：筑波産学連携支援センター 第6会議室



北海道農業研究センター
日時：平成31年3月6日（水）
会場：北海道農業研究センター ミーティングルーム

東北農業研究センターにおけるダイバーシティ実現に向けた取組



東北農業研究センターは、2016年度から岩手大学を代表とするJST事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」（実施期間：2016～2021年度）に、弘前大学、八戸高等、一関高等、（株）ミクニとともに参画し、北東北地域における女性研究者およびその上位職の増加をめざして、①ダイバーシティ研究環境整備、②女性研究者の研究力向上・リーダー育成、③女性研究者の上位職への積極的登用に取り組んできました。

本事業において東北農業研究センターでは、管理職を対象としたコーチング研修や女性研究職員を主な対象としたキャリアデザイン研修、科学コミュニケーション研修、外部資金獲得セミナーの開催のほか、論文投稿支援や外部研修受講補助等、ダイバーシティ推進に向け様々な活動に取り組んでいます。

2017年度からは、職業としての研究職に関心を持ってもらうため、女子学生を対象として東北農業研究センターにおける女性研究者の仕事ぶりを紹介し、女性研究者との座談会を行う機会も設けました。

今年度は一般公開に併せ、「女子学生のための研究職ガイダンス」として開催したところ、大学生や高校生、保護者の方にもご参加いただき、参加者からは「（研究を）‘仕事’にしていこうとすることがどのような感じなのかイメージが湧いた」「研究職に就くにあたり家庭をすべきか悩んでいたが、家庭を持ったことで仕事にも良い影響が出ることもあるとわかり、非常に参考になった」との声を寄せられました。今後は、本事業で作成した東北農業研究センター版ロールモデル集等も活用しながら、女性研究者の裾野拡大につながる活動を継続していく予定です。



科学コミュニケーション研修



女子学生のための研究職ガイダンス



東北農業研究センター版ロールモデル集

農研機構のひと - work & life interview 2018 -

昨年から引き続き、職員インタビュー集「農研機構のひと」第二弾を刊行しました。

今回は、若手の研究員やチーム員から部長やユニット長などの管理職まで多様な8人の、仕事にかける思い・これまでのこと・後輩へのメッセージ・家族のことなど、それぞれのwork & lifeを写真とともに紹介しています。



一時預かり保育室「なろりんルーム」2019年度の利用登録をお願いします

利用登録は生年度有効ですので、**今年度利用登録をされている方も、来年度の登録が必要です。**
2019年4月1日から2020年3月31日までの間に保育室を利用する方は、登録申請をお願いします。



平成31年4月1日以降に保育室を利用（申請）する際は、新しい登録番号が必要となります。現在の登録番号（H30-0XX-0X）は、継続してご利用いただけませんので、ご注意ください。

3月は登録申請が集中して発行まで数日かかることがありますので、4月初旬に利用を予定している方は、お早めに登録をお願いします。

登録手順など詳細は、デスクネットインフォメーション（3/4掲載）をご確認ください。

編集・発行
農研機構 ダイバーシティ推進室

〒305-8517 茨城県つくば市観音台3丁目1-1
TEL: 029-838-7307 FAX: 029-838-8965
E-mail: fsupport@ml.affrc.go.jp URL: <http://www.naro.affrc.go.jp/diversity/index.html>



DSO参加機関の活動紹介

■ 産総研：ダイバーシティパンフレットリニューアル ■

産総研の女子学生向け懇談会等イベントでお渡ししているダイバーシティパンフレットをリニューアルしました。産総研を知っていただき、研究者の働き方をイメージするお手伝いを日本語と英語で行っています。



お役立ち情報

厚生労働省 職場研修用の動画資料[今すぐ実践！男性の育児休業]掲載

イクメンプロジェクトサイトに新たに動画資料[今すぐ実践！男性の育児休業]が掲載されました。職場等で育児休業取得を含めた、育児との係わりを促進するための研修用資料となっており、スライド資料とともに、従業員向け・管理職向けなど、必要に応じて使い分けられる構成となっています。

PDF「父親の仕事と育児両立読本～
ワーク・ライフ・バランス ガイド～」も
平成30年度版に改訂されました。

イクメンプロジェクトサイト：
<https://ikumen-project.mhlw.go.jp/>



出典：イクメンプロジェクト ダウンロードコーナー

ダイバーシティ・サポート・オフィスのご案内

ダイバーシティ・サポート・オフィス(DSO)は、つくばを中心に全国の研究教育機関をメンバーとして、平成19年より男女共同参画を連携して推進してまいりました。現在は、参加機関相互のイベント機会提供や、年2回の担当者による情報・意見交換会を行っています。DSOへのご参加も歓迎しております。

【DSOメンバー：20機関】

産業技術総合研究所、森林研究・整備機構 森林総合研究所、物質・材料研究機構、農業・食品産業技術総合研究機構、千葉大学、筑波大学、神戸大学、土木研究所、国立環境研究所、国際農林水産業研究センター、防災科学技術研究所、高エネルギー加速器研究機構、理化学研究所、宮崎大学、上智学院、岡山大学、宇宙航空研究開発機構、大阪大学、量子科学技術研究開発機構、建築研究所（加入順）